

## 1. showCode

コードを表示する関数

### 1.1 基本的な使い方

普通に表示

```
1 import glob
2 from re import match
3
4 # 課題 1 足し算をする関数
5 def add(a : int, b : int) -> int:
6     return a + b
7
8 # 課題 2
9 # 掛け算をする関数
10 def mul(a : int, b : int) -> int:
11     return a * b
12
13 # カウンター
14 class counter:
15     count = 0
16     def __init__(self) -> None:
17         count = 0
18     def add_count():
19         count += 1
20
21 if __name__ == "__main__":
22     print(add(1, 2))
23     print(mul(2, 4))
24     # main
```

関数指定で表示(caption 属性で説明を付けられる)

```
4 # 課題 1 足し算をする関数
5 def add(a : int, b : int) -> int:
6     return a + b
```

add 関数

“差分を指定(初期値は(-1, 0))となっており端の空行は表示されない)

```
8 # 課題 2
9 # 掛け算をする関数
10 def mul(a : int, b : int) -> int:
11     return a * b
```

showlines を true にすると端の空行も表示される

```
8 # 課題 2
9 # 掛け算をする関数
10 def mul(a : int, b : int) -> int:
11     return a * b
12
```

クラス指定で表示

```

13 # カウンター
14 class counter:
15     count = 0
16     def __init__(self) -> None:
17         count = 0
18     def add_count():
19         count += 1

```

範囲指定で表示 `showrange` の代わりにこちらも使用可

```

1 import glob
2 from re import match

```

## 1.2 特殊な指定

`func` に `__main__` を指定すると `if __name__ == "__main__"` 部分が出力される

```

20 if __name__ == "__main__":
21     print(add(1, 2))
22     print(mul(2, 4))
23     # main

```

## 1.3 注意点

以下のようにインデントの合わないコメントがあるとそのコメント以下が表示されなくなるので注意

```

1 def func():
2     a = 0
3     b = 1
4     # このコメントはダメ
5     c = 2
6     # この位置は ok

```

## 2. itembox

Latex のアイテムボックスのようなものを表示する関数

### 2.1 使い方

普通に使用

課題 1  
Typst の利便性について説明せよ

`width` 等の変更も可(`outset` や `inset` の方向別指定をするとずれる)

課題 2  
Typst について調べ、Latex と比較せよ

`caption` の横の空白サイズを変更

課題 3  
Typst 最高!

caption と本文の間隔を変更

## Tips

かなり力技で実装している  
もう少しいい感じにしたいカモ

### 2.2 注意点

力技で実装したため、文字サイズは 6pt から 30pt を想定しているのでこれを超えると caption がずれる

caption の調整をうまく関数化してどんな文字サイズにも対応させたい